◀大原沖の水深10～20メートル前後をくまなく探った

★新作ライトヒラメ専用竿がきれいな弧を描く。パワーがある竿だから大ビラメにも楽らく対処

外房のヒラメ、ラストチャンスに賭けろ！

▲「タックル選びも大切です」と三石さん

★関東周辺のヒラメは茨城、銚子エリアとも3月いっぱいで禁漁。となればヒラメファンがこれから注目するのが、乗っ込みの大型が釣れ始まる外房大原沖だ。好期を前に、ヒラメファンの一人でもある三石忍さんが釣行した模様をお届けする。 撮影◉本誌編集部

★良型連発の先陣を切った2.5キロ

外房大原港出船

大型のシーズンはこれから!! ベストタックルでチャレンジ

3月は出船すらできない悪天候の日が多く、底荒れを嫌うヒラメ釣りでは最悪の状況が続いていた。三石さんとて今回の釣行は、3度の延期の末にようやく出船にこぎ着けたのだった。

久しぶりのナギ日ではあったが、船長の表情は明るくはない。「シケ続きでここ何日か、あまりよくない。底荒れしてるし、潮が濁っちゃってるんだよ」

が、三石さんはもちろん、集まった乗船者も承知のうえ。一発勝負のヒラメ釣りだし、穏やかな海で竿を出せるだけでも楽しいのだろう、元気よく準備を整え出船時間を迎えた。

5時過ぎに出船。灘寄りは潮の濁りがひどいようで、船長は南下しつつ澄んだ海域を探し回り、5時半に15メートルダチで釣り開始の合図を出した。

左舷トモ2番に座る三石さんは新製品のヒラメ竿に、まずは様子見で60号のオモリをセット。船は横流しで、初投入は仕掛けが船下に入る潮向き。手持ち竿で釣る三石さんには問題なく操作できる重さのようだ。

1流し目は船中アタリなし。次の流しでは仕掛けが沖に払い出す潮向きとなり、今度は50号オモリにチェンジ。当日の釣りはすべてこのスタイルの繰り返しだった。

2流し目に右舷大トモの方に船中初ヒット。2キロ級の良型に続き、この後1キロ級も釣り上げてしまった。ここ数日の不釣に反して、

「ヒラメはいる」とだれもが確信したことだろう。

気合みなぎる船上となるなか、ついに三石さんがアタリをとらえた。合わせもうまく決まって大きく竿が曲がり込む。

引きから見て1キロ級に思えたが、なんなく取り込んだのは2.5キロの良型。新製品のデッキステージヒラメはしっかりロッドパワーの備わった竿であることを見せつけた。

さらに30分後、それを実証する出来事が起こった。突然、

「食った～」の声に、船長があわてて玉網を持って駆けつける。

「こりゃ～デカイよ」と船長も興奮気味。わずか水深10メートル前後のポイントから伝える引きは、時にドラグを大きく引き出し、まるで青物のようにも思えた。

それでも三石さんは巻き上げの手を止めず、魚を遊ばせないヤリトリで茶褐色の魚体を海面に引き上げる。

船長の玉網にすんなり誘導し、取り込んだのは後検量3.7キロ、この日唯一の大ビラメであった。

予想外の大型に本人はもちろん船長までもが大喜び。シケ続きで数も型も今一つだっただけに、久しぶりの大型は船長にとってもさぞかしうれしかったのだろう。

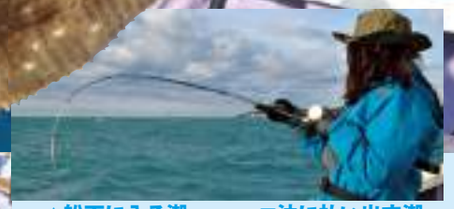
この1枚を皮切りに、船中でもポツポツと型を見るようになった。サイズは1キロ前後ながら、時折2キロ級も顔を出す釣れっぷりとなったが、

「まだまだシケ前に比べれば」と船長は言いながら、あちこちのポイントを探り回る。

11時過ぎに納竿。10人の乗船者で0.5～3.7キロを0～4枚。濁りの取れない状況下ではまずまずの釣果だったろう。

外房大原沖は例年、4月になると40～70メートルダチの深場に乗っ込みの大型が回遊してくる。釣り味はもちろん、タップリ脂の乗った魚体は食味抜群。5月6日の禁漁まで、まだまだ十分に楽しめるのが当地の魅力。ラストチャンスを逃さぬよう、早めの釣行をおすすめしたい。

◀ヒラメ仕掛けは性能のよい既成品を
▼エサ付けも大切。親バリは口から刺し入れ硬いところに抜き、孫バリは背に軽く刺す

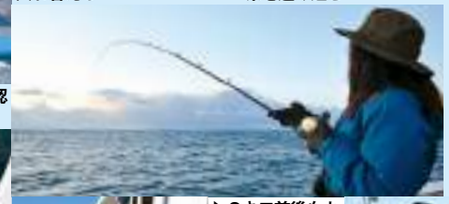


▲船下に入る潮
やや重めのオモリを使い、あまり船下に入るようなら入れ替える

▼沖に払い出す潮
竿はやや上に構え、軽めのオモリを使ってドンドン糸を送り込む

▲ライトヒラメでは常に竿を持って、底形状の確認や小さなアタリを漏らさず取る

▲軽量で操作性のよい竿を使うことも大切



▲終盤は食い渋ったものの2.5キロも釣れ上がった

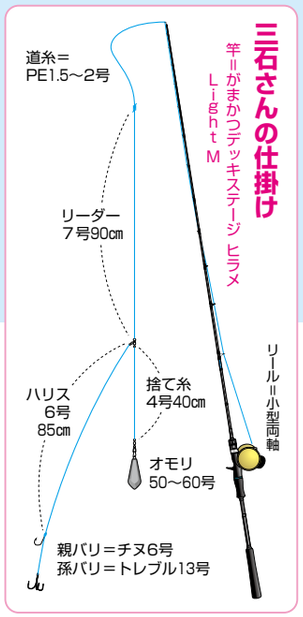
▶2キロ前後もよく釣れた

◀まずはトモの方に2連発

三石忍のワンポイントアドバイス

「オモリは常に底から50センチ程度上げ、時折底ダチを確認します。今回の大型は底から2メートル上で食ってきたので、こまめにタナを探ることも必要です。ヒラメの竿は多種ありますが、オモリを背負って7：3調子、軽量で操作性のよいタイプがベスト、もちろん大型にひるまないロッドパワーも必要です」

三石さんの仕掛け



◉Presented by Gamakatsu　問い合わせ＝がまかつ㈱0800・222・5895

取材協力◉外房大原港・つる丸 ☎090・4377・5777（詳細は巻末の情報欄参照）